



# あい通信

2017 11月号 2017. 10. 24 N02

## 活動報告 II

- 10月野外活動(バーベキュー) 当事者 5人 家族 7人 支援者 3人  
日時 H29年10月8日〔第二日曜日〕11時00分～14時30分  
場所 松山市野外活動センター(レインボーハイランド)松山市菅沢町  
内容 家族:「バーベキューで話そう」当事者、家族、支援者合同の野外活動です。  
心配された雨もやみ、晴天になり、初秋の爽やかな野外活動センターで11時より開始し、男性は火起し、女性は野菜類の下ごしらえの準備をし、肉、野菜をどんどん焼いて食べ、その後、焼きそばも焼き沢山食べました。みんな和気あいあい話をして楽しい時間を過ごしました。最後にビンゴゲームをして盛り上がり終了しました。
- 10月リビング「あい」(当事者自立活動) 当事者2人 一般3人  
日時 H29年10月15日〔第三日曜日〕10時00分～14時30分  
場所 リビング「あい」松山市平井町3553-5  
内容 家族:今回は「いもたき」と「ぼたもち」作りをしました。レシピによる調理方法を見ながら作りました。特に「ぼたもち」作りは大きさと形をきれいにするのが難しかったです。  
その後、模擬カフェにて日ごろの生活や訓練の話をし、ストレスを発散しました。

## 関連事項

### お知らせ

- 「日本脳外傷友の会第17回全国大会in岐阜」報告  
10月20日、21日に開催されました全国大会には「あい」より石田副代表、玉置が参加しました。  
★20日の「日本脳外傷友の会運営委員会」には玉置が出席し「高次脳機能障害支援コーディネーター研修会」には石田副代表が出席しました。  
運営委員会につきましては「あい」は準会員ですのでオブザーバー出席となりますが会の運営状況やこれからの活動方針(支援普及事業の法制化等)の把握ができました。
- ★21日の全国大会  
・今回の大会は講演内容が身近で非常に有意義な講習でした。  
その中、基調講演Ⅱ「岐阜県の高次脳機能障害の支援体制について～これまでの歩み、現状と今後の課題と展望～」  
篠田 淳(社会医療法人厚生会 木沢記念病院副院長 中部療護センター長)  
先生のご講演では岐阜県も愛媛と同じ社会資源がない中、支援ネットワーク作りや支援コーディネーターの育成、協力病院への業務委託の内容等、熱心な支援活動により他県の支援事業費の1/4でシステムを作り上げとのことで、感服しました。  
・今後の課題としましては、精神科領域の診療連携に関わること、岐阜県内に高次脳機能障害に特化した生活訓練施設、職業訓練施設がないことへの対応、患者の増加による各圏域での支援コーディネーターの増員育成、高次脳機能障害者の生活上の問題である自動車運転の問題対応の話がありました。  
これらの課題は愛媛でもまったく同じであり、愛媛県の支援連絡協議会でも「あい」の要望として提案し、課題の解決をめざし活動しています。  
この事例を教訓とし、今後の支援活動に活かして行きたいと思えます。
- 「心のふれあい講座」講習会  
日時 H29年11月12日〔第二日曜日〕12時30分～16時00分  
場所 松山市総合コミュニティセンター(カメラリアホール)  
※詳しくはチラシをご参照下さい

事務局 電話 090-6284-5482(玉置)

FAX 089-994-3617

email [tamasuke@aqua.plala.or.jp](mailto:tamasuke@aqua.plala.or.jp)

(2/2)

